SONY

4-100-573-**05** (1)

お客様・販売店様・特約店様用

壁掛けユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

⚠警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ
壁掛けユニットの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

この壁掛けユニットは下記指定機器専用です。指定機器以外には使わないでください。

指定機器

液晶デジタルテレビ	KDL-L32RX2 KDL-L26RX2 KDL-L23RX2 KDL-L32HX2 KDL-L28HX2 KDL-L30HX1
液晶ワイドテレビ	KLV-26HG2

上記以外の指定機器については、テレビ本体に付属の取扱説明書をご覧ください。

SU-LW1

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、右のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号		行為を禁止する記号
火災	感電	禁止

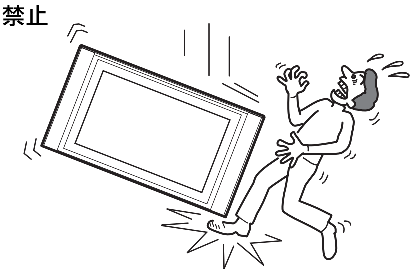
お客様へ

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下により死亡や大けがの原因となります。

取り付け工事は専門業者に依頼する
また取り付けのときは幼児を遠ざける

禁止



正しく取り付けないと、以下のようなことがおこります。取り付けは専門業者にご依頼ください。

- 地震などがおきたときに、ディスプレイの落下による打撲や骨折など大けがの原因となります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁の強度は、少なくともディスプレイ重量の4倍は必要です。（ディスプレイの重量は8ページのディスプレイ取り付け寸法表をご覧ください。）
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。

ディスプレイの移動や取り外しは、専門の業者に依頼する

専門業者以外の人が移動や取り外しを行うと、ディスプレイが落下し、けがや破損の原因となることがあります。また、移動や取り外しは、必ず2人以上で行ってください。

ディスプレイに水などの液体をかけない

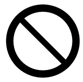
水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

ディスプレイを取り付けたあとはネジなどをはずさない

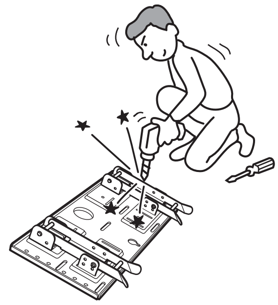
ディスプレイが落ちて、けがや破損の原因となります。

取り付け部品の分解、改造、変更は行わない

壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となることがあります。



禁止

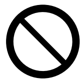


指定機器以外のものを掛けない

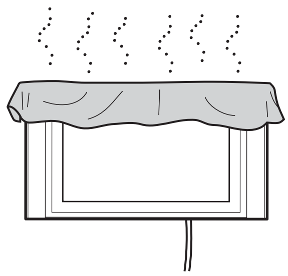
この壁掛けユニットは指定機器専用です。指定機器以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ディスプレイの通風孔をふさがない

ディスプレイを設置したとき、布などをかけて通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

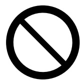


禁止

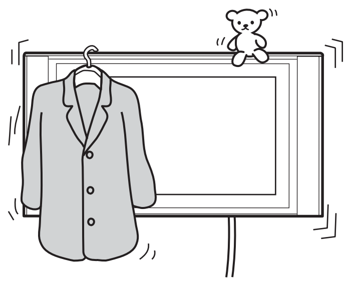


ディスプレイ以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。



禁止

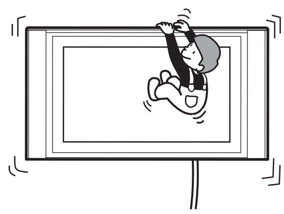


ディスプレイに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

ディスプレイがはずれ、下敷きになり大けがの原因となることがあります。



禁止



ディスプレイを雨や湿気にさらさない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

湿気やほこり、湯気の多い場所、機械的振動の多い場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。

火のついたロウソクや燃えやすい物を近くに置かない

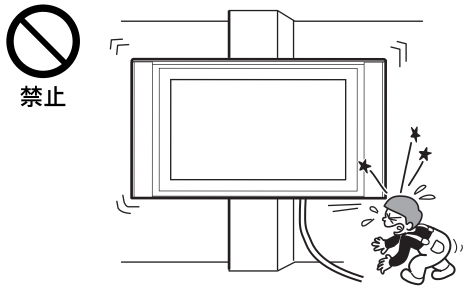
火災を防止するために、ディスプレイから離れた所に置いてください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ディスプレイユニットがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱など壁掛けユニットがはみ出してしまうような場所には取り付けないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。



掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、ディスプレイの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。ディスプレイの落下によるけがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはディスプレイを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用上のご注意

- 壁掛けユニットにディスプレイを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、ディスプレイの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、はずした場合に、壁にネジ穴が残ります。
- 壁の中に300 Ωフィーダー線をすでに使っている場合は、壁の中の300 Ωフィーダー線を75 Ω同軸線に変更することをおすすめします。
  やむを得ず300 Ωフィーダー線を使用する場合は、設置工事を始める前に、ディスプレイと壁の中にあるフィーダー線との距離が充分に確保できているかを確認してください。
  また、雑音電波などの影響がでない場所などを事前に設置業者の方とご確認のうえ、工事を始めてください。

壁掛けユニットを取り付ける　販売店様・特約店様用

⚠警告　**お客様へ**

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実に取り付けを行ってください。

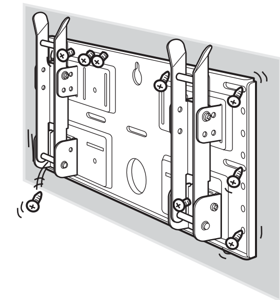
販売店様・特約店様へ

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みの上、設置および保守・点検などを安全に行ってください。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下し、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ（M6相当5本以上）で、しっかりと固定してください。

禁止



付属品のネジおよび取り付け金具は、取扱説明書の使用方法を守ってご使用ください。また、取扱説明書にない代替品を使用すると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

ディスプレイが落ちてけがの原因となることがあります。

取り付け作業中にディスプレイに衝撃を与えない

ディスプレイが落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にディスプレイを取り付ける

垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、ディスプレイが落ちてけがの原因となります。

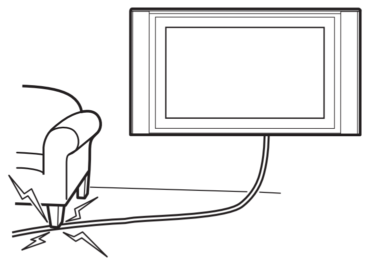
取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、ディスプレイを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。

禁止



取り付けるときには、手や指を傷つけないように注意する

壁掛けユニットやディスプレイを取り付けるときに、手や指を傷つけないようにご注意ください。

壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません

壁の材質や構造に適したネジをご使用ください。

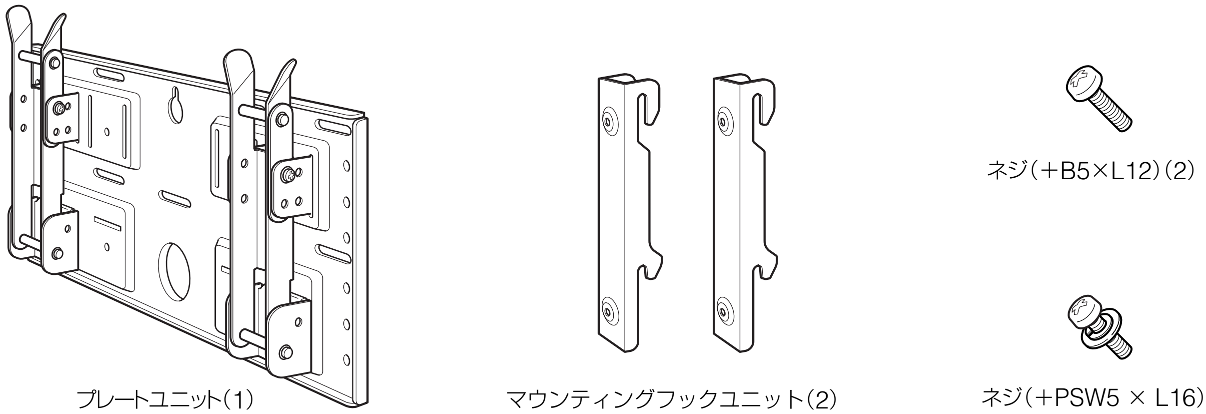
作業をする前に

表紙に記載のある指定機器以外のテレビをご使用のときは、必ずテレビ本体に付属の取扱説明書をお手元にご用意の上、「本機を壁にかけて使う」のページもあわせてご覧ください。

手順 1：取り付けに必要な部品を確認する

1 取り付ける壁の材質に合ったM6相当5本以上のネジ（付属品ではありません）とドライバーを用意する。

2 梱包を開いて、部品を確認する。



手順 2：フックユニット受けを付け替える

1 KLV-26HG2は、下記❶〜❺の作業を必ず行ってください。KDL-L32RX2/KDL-L26RX2/KDL-L23RX2/KDL-L32HX2/KDL-L28HX2/KDL-L30HX1をお使いの場合は、手順3へ進んでください。それ以外のテレビをお使いの場合は、テレビ本体に付属の取扱説明書の「本機を壁にかけて使う」をご覧になり、フックユニット受けの付け換えが必要かどうかを確認してください。

❶ 左右の角度調整ネジ（4本）をはずす。

❷ 左右のフックユニット受けのネジ（4本）をはずす。

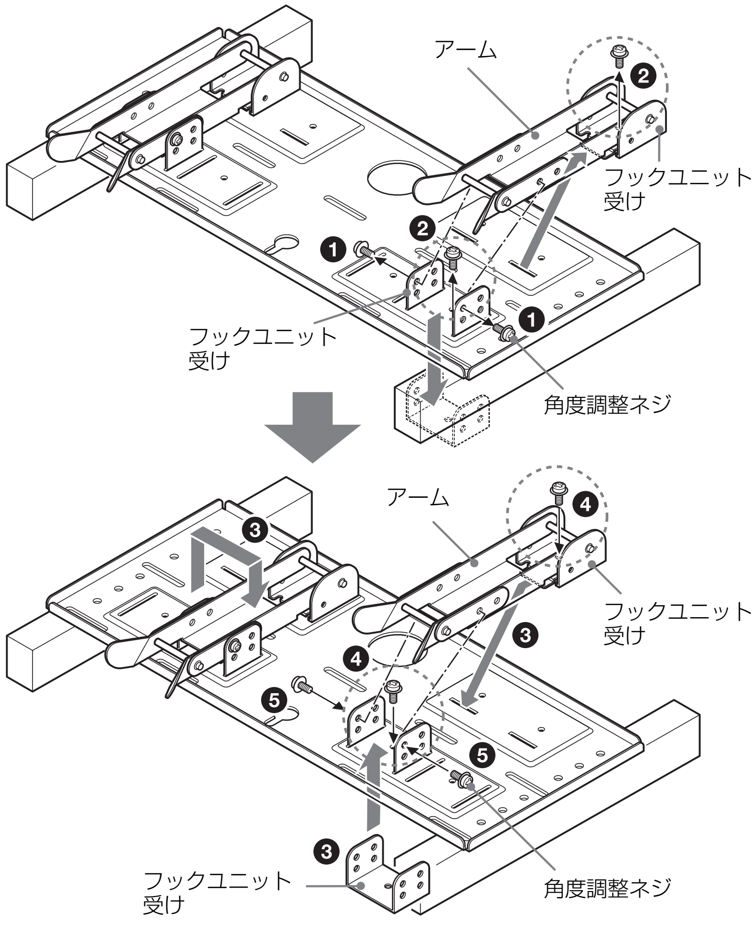
❸ 左右のアームとフックユニット受けを内側のきりかきに付け替える。

❹ ❷ではずしたネジで左右のフックユニット受けをしっかりと固定する。

❺ ❶ではずしたネジで左右のアームをしっかりと固定する。

ご注意

電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2 N・mに設定してください。



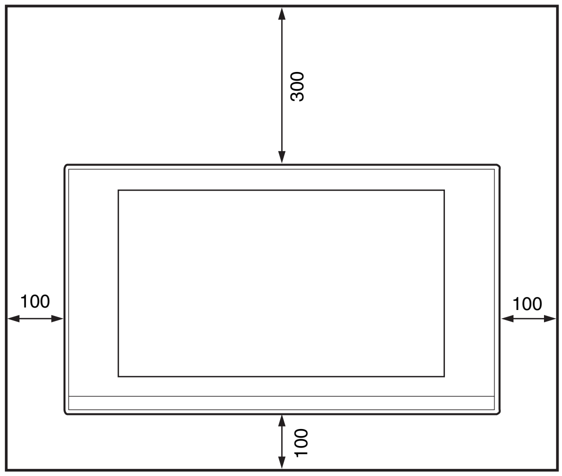
手順 3：取り付け位置を決める

1 天井や壁の凸部から右図の距離以上離してください。

ちょっと一言

取り付けたときの断面寸法図は、「ディスプレイ取り付け寸法表」（☞8ページ）をご覧ください。

単位：mm



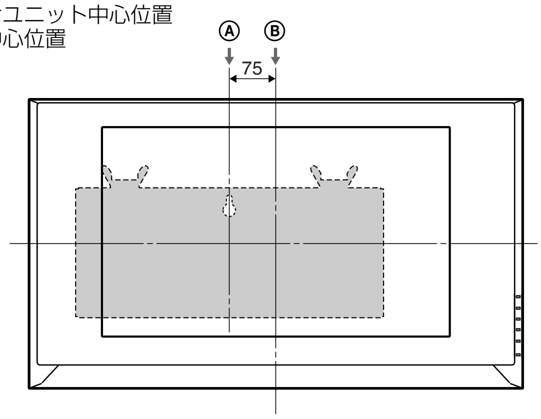
ご注意

KDL-L26RX2/KDL-L23RX2後面の取り付け用ネジ穴の位置は中心からずれたところにあるため、壁掛けユニットとディスプレイの中心位置に差が出ます。工事の際は、ディスプレイの取り付け位置を決めてから、 中心位置の差を考慮して壁掛けユニットの取り付け位置を決めてください。

KDL-L26RX2の場合：Ⓐと Ⓑの中心位置の差75 mm

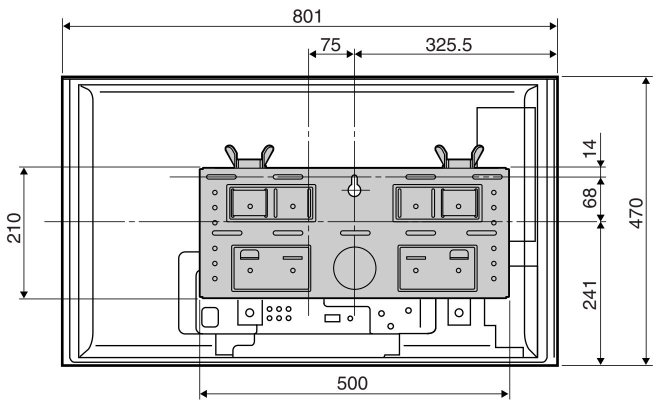
前から見た図

Ⓐ 壁掛けユニット中心位置
Ⓑ 本機中心位置



後ろから見た図

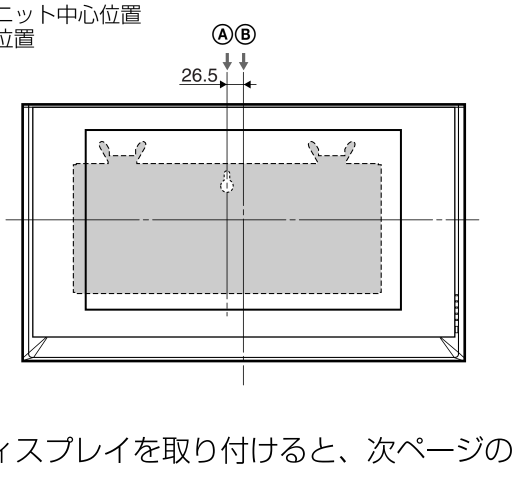
単位：mm



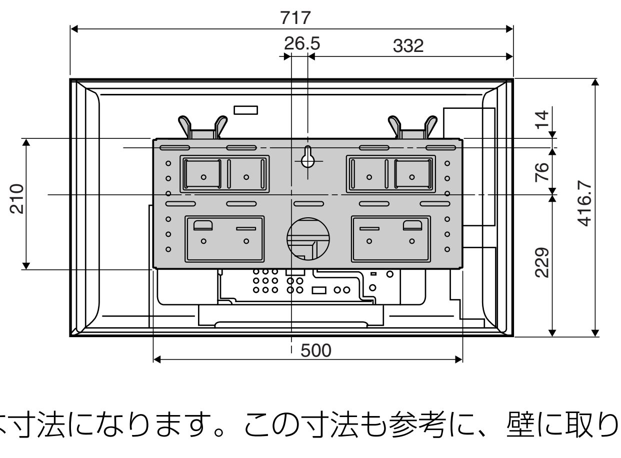
KDL-L23RX2の場合：Ⓐと Ⓑの中心位置の差26.5 mm

前から見た図

Ⓐ 壁掛けユニット中心位置
Ⓑ 本機中心位置

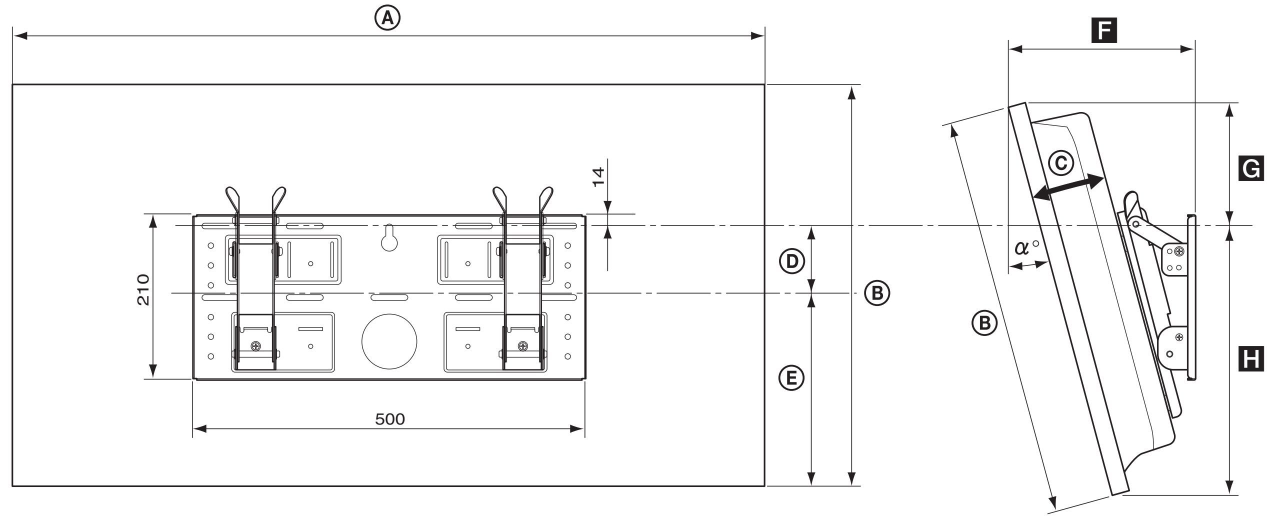


後ろから見た図



本機のディスプレイを取り付けると、次ページのような寸法になります。この寸法も参考に、壁に取り付ける位置を決めてください。

ディスプレイ取り付け寸法表



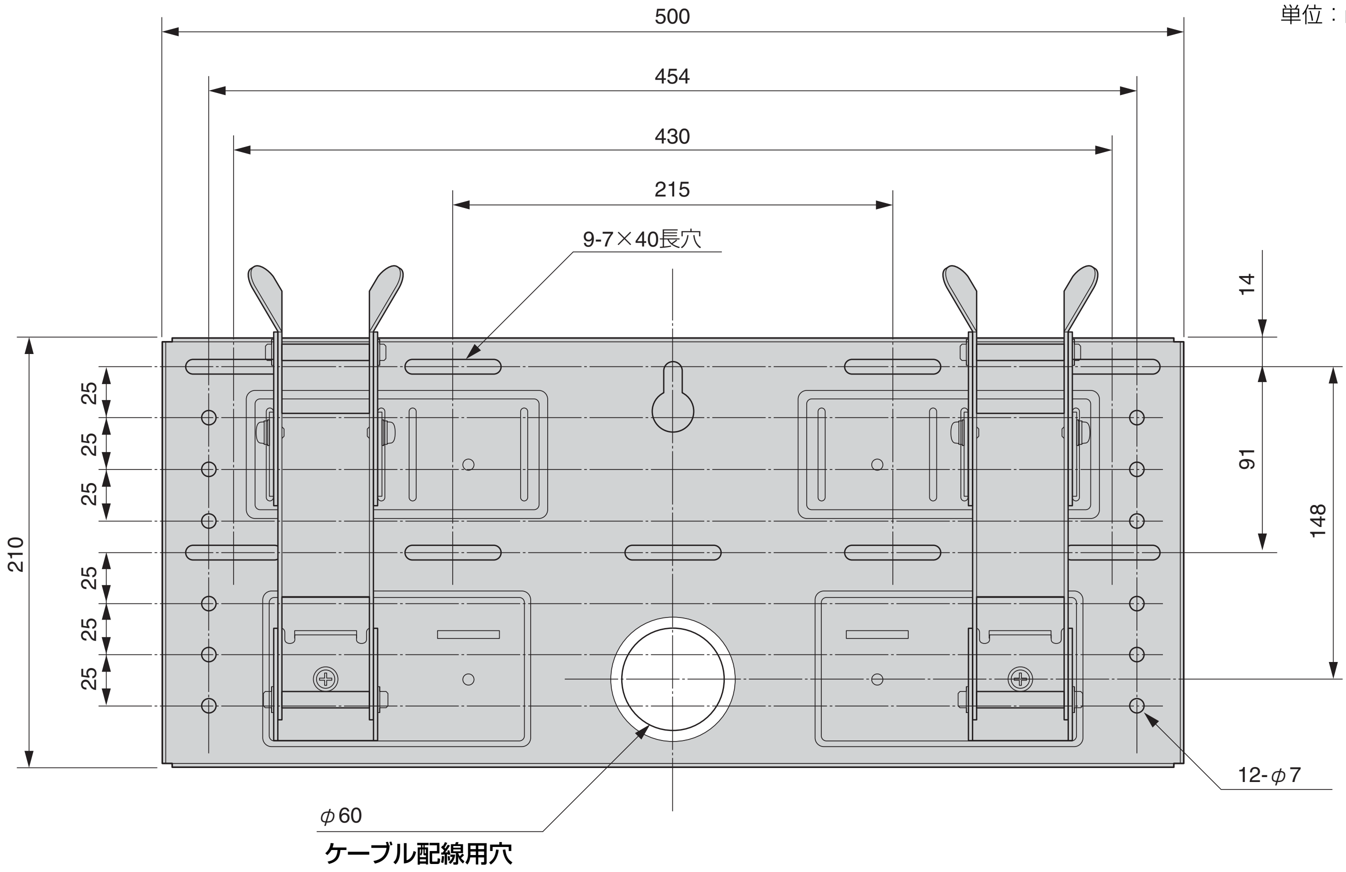
表紙に記載のある指定機器以外のテレビを取り付けるときは、テレビ本体に付属の取扱説明書の「本機を壁にかけて使う」をご覧ください。

ディスプレイ型名	ディスプレイ寸法 単位：mm					取り付け角度による長さ 単位：mm				重量
	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	取り付け角度（α°）	F	G	H	（×4）*
KDL-L32RX2	940	584	131	68	326	0°	186	189	394	27 (108) kg
						5°	216	182	404	
						10°	245	172	412	
						15°	272	160	420	
						20°	297	145	427	
KDL-L26RX2	801	470	128	68	241	0°	183	161	309	18 (72) kg
						5°	211	153	319	
						10°	237	143	329	
						15°	262	130	339	
						20°	285	115	348	
KDL-L23RX2	717	417	120	76	229	0°	175	112	305	13 (52) kg
						5°	199	104	315	
						10°	221	93	325	
						15°	241	82	334	
						20°	261	69	342	
KDL-L30HX1	971	524	93	68	268	0°	147	188	336	20 (80) kg
						5°	177	179	345	
						10°	206	167	352	
						15°	234	152	258	
						20°	260	135	363	
KDL-L28HX2	959	512	97	57	262	0°	151	193	319	18 (72) kg
						5°	181	183	328	
						10°	210	171	336	
						15°	238	156	342	
						20°	264	139	347	
KDL-L32HX2	1,052	569	97	31	291	0°	151	247	322	21 (84) kg
						5°	186	237	331	
						10°	219	225	339	
						15°	252	209	345	
						20°	282	190	350	
KLV-26HG2	790	430	118	65	215	0°	167	150	280	12 (48) kg
						5°	194	139	291	
						10°	220	129	301	
						15°	244	122	310	
						20°	266	113	318	

* 取り付ける壁にはディスプレイ重量の4倍に耐えられる強度を要します。

壁面加工用寸法図

単位：mm



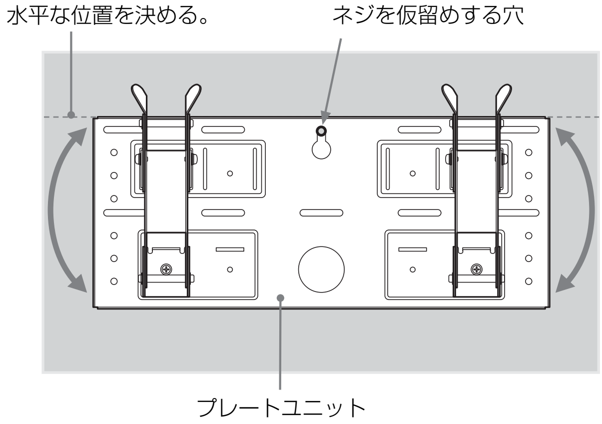
壁面の強度補強を行う場合、または壁の中にケーブル類を配線する場合には上図を参照して、壁面加工を行ってください。

⚠警告

取り付ける壁にはディスプレイ重量の4倍に耐えられる強度を要します（☞8ページ）。取り付け位置の壁面強度をご確認ください。強度が不足する場合は、充分な補強を行ってください。

手順 4：プレートユニットを壁に取り付ける

1 プレートユニットをネジで仮留めし、水平になるように調整する。



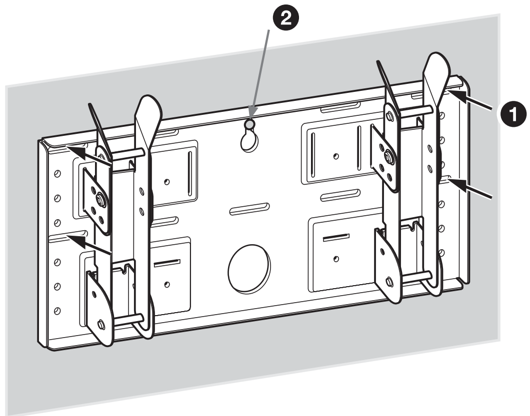
⚠警告

- 壁掛けユニットと壁面を固定するネジは付属しません。
- 壁に取り付ける際のネジは、必ず、壁の材質や構造に適したネジを使用してください。

2 プレートユニットをM6相当4本以上のネジ（付属品ではありません）で固定する。

❶ 強度を確保するため、ゆるみがないようにしっかりとネジを固定する。

❷ 1で仮留めしたネジをしっかりと固定する。



⚠警告

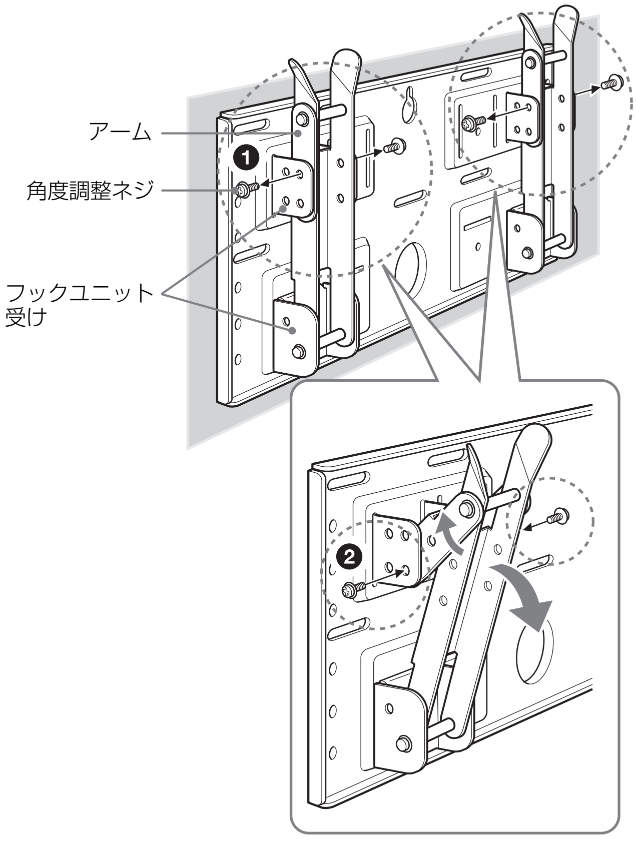
取り付ける壁にはディスプレイ重量の4倍に耐えられる強度を要します（☞8ページ）。取り付け位置の壁面強度をご確認ください。強度が不足する場合は、充分な補強を行ってください。

3 角度を調整する。

ディスプレイを垂直に取り付けて使用する場合（0゜）は、角度調整（以下❶❷）をする必要はありません。アームがしっかりとネジ留めされているかを確認してください。

❶ 左右のアームの両側面にある角度調整ネジ（4本）をはずす。

❷ 変えたい角度のネジ穴（4か所）に角度調整ネジをしっかりと留める。（5゜、10゜、15゜、20゜）。



ご注意

- 左右のアームは必ず同じ角度に調整してください。
- アーム付け替えの際は、指をはさまないようにご注意ください。
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2 N・mに設定してください。
- フックユニット受けがしっかりとネジ留めされているかを確認してください。

手順5：テーブルトップスタンドからディスプレイをはずす

表紙に記載のある指定機器以外のテレビをお使いのときは、テレビ本体に付属の取扱説明書の「本機を壁にかけて使う」をご覧ください。
取りはずすディスプレイにより、作業の方法が違います。それぞれの製品ごとの手順をご覧いただき、取りはずし作業を進めてください。

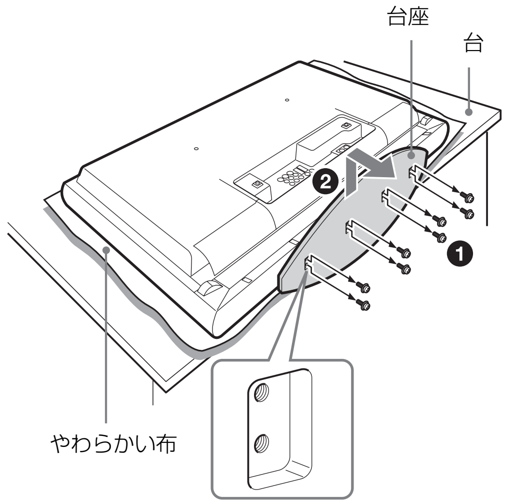
KDL-L32RX2

❶ テーブルトップスタンド台座底面の8本のネジをはずす。

❷ テーブルトップスタンドの台座を持ち上げてはずす。

ご注意

- 作業は、必ず2人以上で行ってください。
- 作業は、やわらかい布などを敷いて、ディスプレイを横にねかせた状態で行ってください。
- テレビ本体とテーブルトップスタンドを同じ水平面上に置くと不安定になり危険です。図のようにテレビ本体だけを台の上に載せるようにしてください。
- テーブルトップスタンドの台座をはずすときは、台座部分をしっかり持つようにしてください。



KDL-L26RX2 KDL-L23RX2

❶ ヒンジカバーを軽くつまみ、上にずらしてはずす。

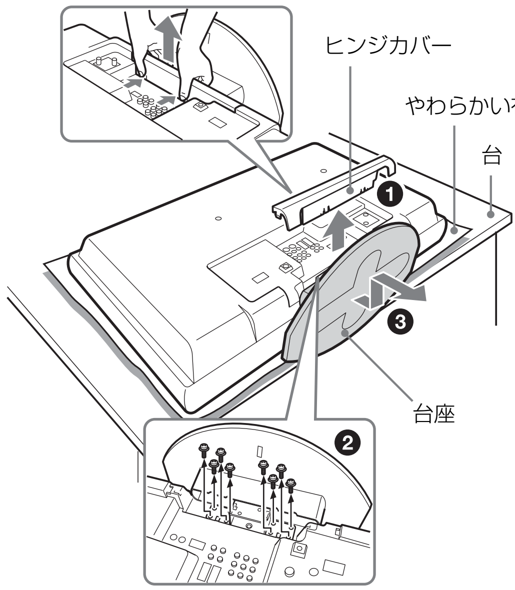
❷ テーブルトップスタンドの首の部分にある8本のネジをはずす。

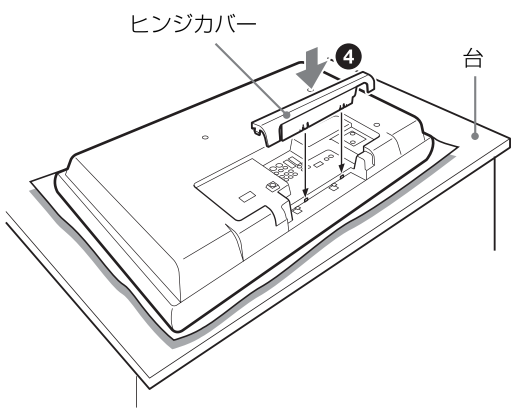
❸ テーブルトップスタンドの台座を上にずらしてはずす。

❹ ❶で取りはずしたヒンジカバーを元の位置に取り付ける。

ご注意

- 作業は、必ず2人以上で行ってください。
- 作業は、やわらかい布などを敷いて、ディスプレイを横にねかせた状態で行ってください。
- テレビ本体とテーブルトップスタンドを同じ水平面上に置くと不安定になり危険です。図のようにテレビ本体だけを台の上に載せるようにしてください。
- テーブルトップスタンドの台座をはずすときは、台座部分をしっかり持つようにしてください。

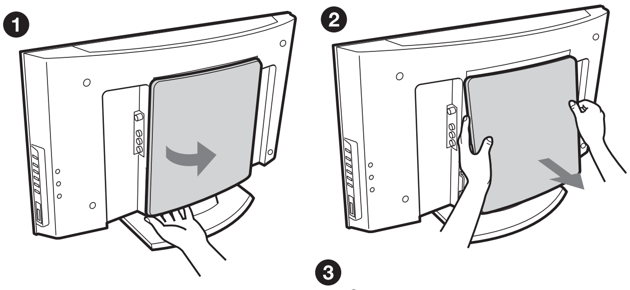




KLV-26HG2

❶ 後面のカバーの右下の角（または左下の角）を図のように持ち、後ろへ引っ張る。同じように左下の角（または右下の角）もはずす。

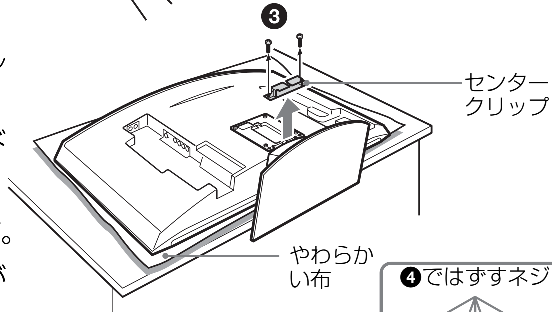
❷ 図のように両手で手前へ引きながらはずす。



ご注意

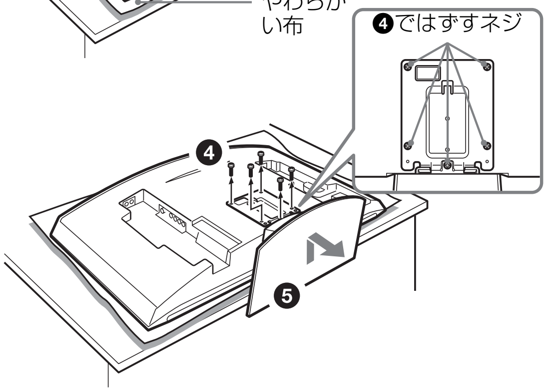
以降の作業は、やわらかい布などを敷いて、ディスプレイを横にねかせた状態で行ってください。

❸ 小ネジ2本をはずし、テーブルトップスタンドのセンタークリップをはずす。



❹ テーブルトップスタンドの5本のネジをはずす。

❺ テーブルトップスタンドを上に持ち上げながら、手前にずらしてはずす。



ご注意

- テレビ本体とテーブルトップスタンドを同じ水平面上に置くと不安定になり危険です。図のようにテレビ本体だけを台の上に載せるようにしてください。
- テーブルトップスタンドをはずすときは、テーブルトップスタンドをしっかり持つようにしてください。

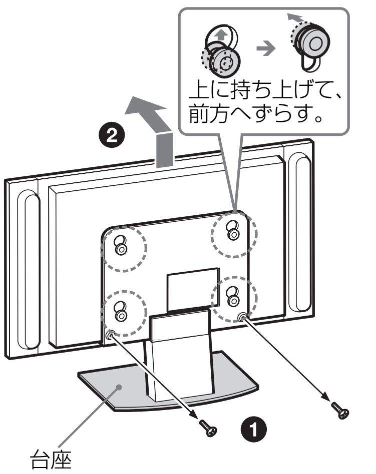
KDL-L30HX1

❶ テーブルトップスタンド下部の2本のネジをはずす。

ご注意

作業は、ディスプレイを立てたままの状態で行ってください。

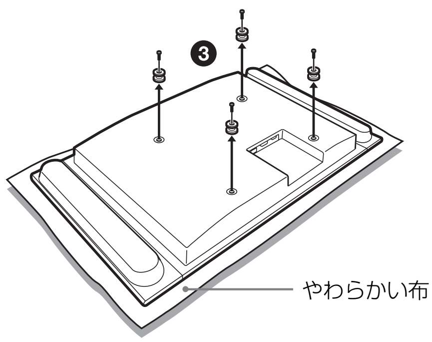
❷ テーブルトップスタンドの台座部分を押さえ、2人以上でディスプレイを持ち上げてから、前方へ移動させ、テーブルトップスタンドからはずす。



ご注意

- 作業は、必ず2人以上で行ってください。
- テーブルトップスタンドを押さえないでディスプレイを持ち上げると、テーブルトップスタンドが同時に持ち上がることがあり危険です。

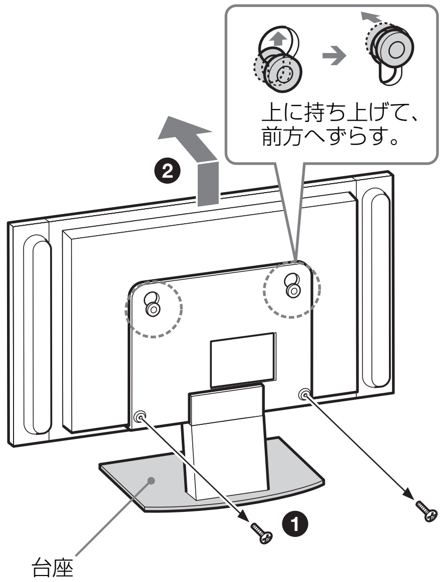
❸ ディスプレイ後面の4つのフックをはずす。

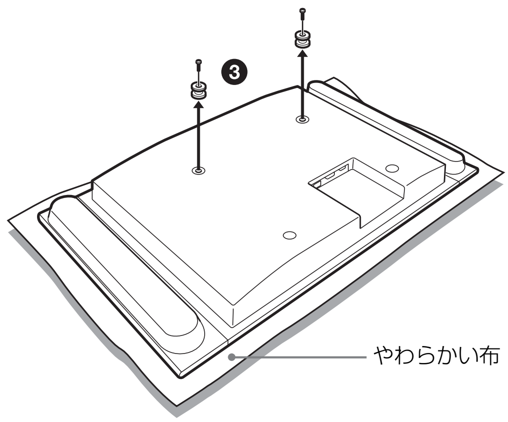


ご注意

作業は、やわらかい布などを敷いて、ディスプレイを横にねかせた状態で行ってください。

KDL-L32HX2 KDL-L28HX2	❶ テーブルトップスタンド下部の2本のネジをはずす。 **ご注意** 作業は、ディスプレイを立てたままの状態で行ってください。 ❷ テーブルトップスタンドの台座部分を押さえ、2人以上でディスプレイを持ち上げてから、前方へ移動させ、テーブルトップスタンドからはずす。 **ご注意** ● 作業は、必ず2人以上で行ってください。 ● テーブルトップスタンドを押さえないでディスプレイを持ち上げると、テーブルトップスタンドが同時に持ち上がることがあり危険です。 ❸ ディスプレイ後面の2つのフックをはずす。 **ご注意** 作業は、やわらかい布などを敷いて、ディスプレイを横にねかせた状態で行ってください。





手順 6：ディスプレイをプレートユニットに取り付ける

⚠警告

すべての作業が終わるまで、電源コードをコンセントにつながないでください。機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。
また、電源コードやディスプレイを足に引っかけると、転んでけがの原因となることがあります。

表紙に記載のある指定機器以外のテレビをお使いのときは、テレビ本体に付属の取扱説明書の「本機を壁にかけて使う」をご覧ください。

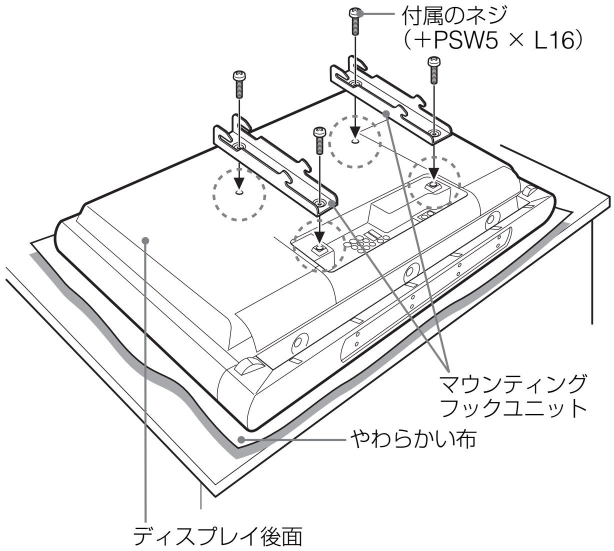
1 ディスプレイ後面とマウンティングフックユニットのネジ穴を合わせ、ネジ（付属＋PSW5 × L16）4本でしっかりと留める。

ご注意

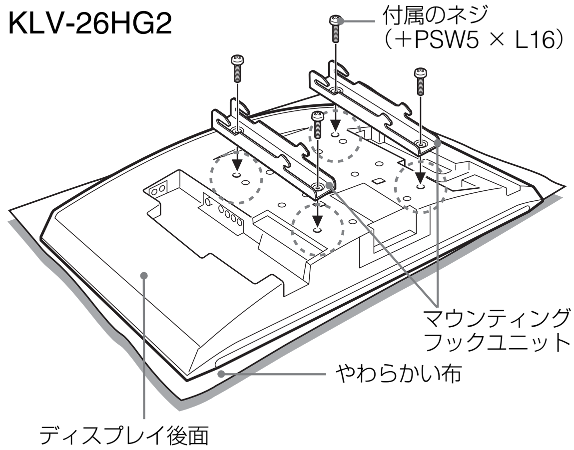
- 作業は、やわらかい布などを敷いて、ディスプレイを横にねかせた状態で行ってください。
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2 N・mに設定してください。

KDL-L32RX2/KDL-L26RX2/KDL-L23RX2

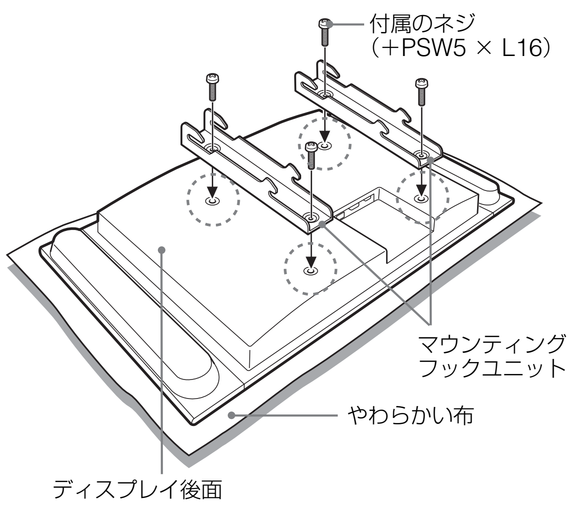
＊KDL-L26RX2、KDL-L23RX2のネジ穴の位置は中心から少しずれています。
詳しくは手順3（☞7ページ）をご覧ください。



KLV-26HG2



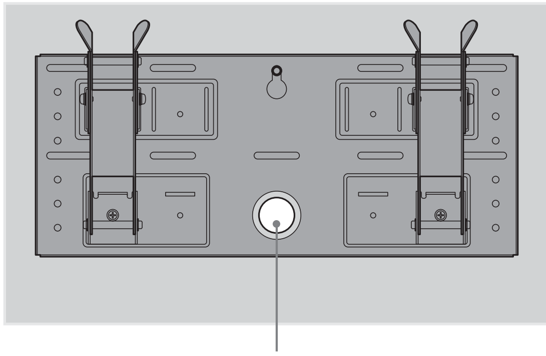
KDL-L32HX2/KDL-L28HX2/KDL-L30HX1



2 ディスプレイに付属の電源コードおよび接続ケーブルをつなぐ。

ディスプレイの後面に電源コードおよび接続ケーブルをつないでください。接続のしかたについては、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

壁の中にケーブル類を配線するときは、用意した穴（☞9ページ）にケーブル類を通してください。



ご注意

- ディスプレイをプレートユニットにいったん取り付けると、ケーブル類をつなげなくなります。
- 壁の中の配線、電気工事は専門業者にご依頼ください。

3 ディスプレイをプレートユニットに取り付ける。

❶ 左右のフックユニット受けに、マウンティングフックユニット抜け止め用のネジ（付属＋B5×L12）をそれぞれ外側から差し込み、仮留めする。

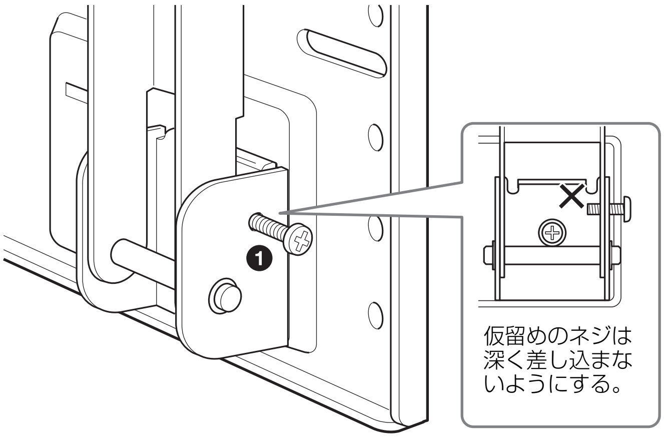
❷ マウンティングフックユニット上側のフックをアームの横軸に掛ける。

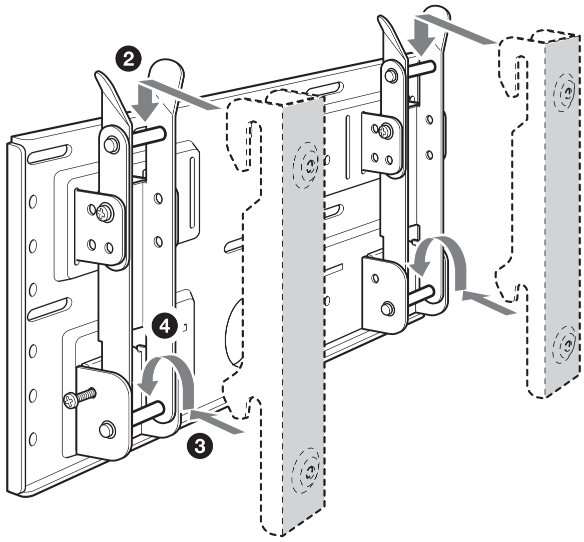
❸ マウンティングフックユニット下側のフックをフックユニット受けの横軸にあてる。

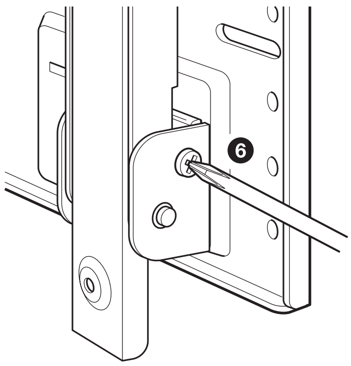
❹ ディスプレイをプレートユニット側に押しあてながら、下から少しずつ持ち上げて、マウンティングフックユニット下側のフックをフックユニット受けの横軸に掛ける。

❺ 8か所のフックが確実に掛かっているかを確認する。

❻ ❶ で仮留めした抜け止め用のネジ左右各1本をしっかりと締め付ける。







ご注意

マウンティングフックユニット抜け止め用のネジを仮留めするとき（❶）、ネジがフックユニット受けの内側に飛び出していると、マウンティングフックユニット下側のフックを掛けることができません（❹）。

取り付け完了を確認する

以下の最終確認を行ってください。

- マウンティングフックユニットのフック8か所が軸に確実に掛かっていますか。
- ケーブル類がねじれたりはさまったりしていませんか。
- フックユニット受けの抜け止め用のネジ2か所は確実に締められていますか。

⚠警告

不完全な取り付けは、製品の落下によるけがや破損の原因となります。また、電源コードなどの不適切な処理は、ショートによる感電や火災を引き起こす恐れがあります。安全のために確認作業を確実に行ってください。

ディスプレイをはずすには　販売店様・特約店様用

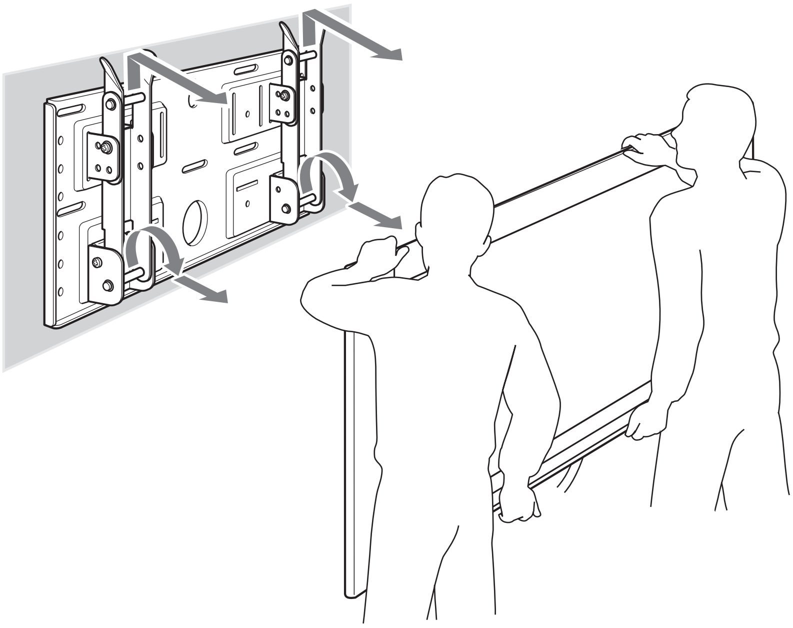
1 コンセントから電源コードを抜く。

2 左右のマウンティングフックユニット抜け止め用ネジ2本をはずす。

3 ディスプレイを2人以上で持ち、上に持ち上げてはずす。

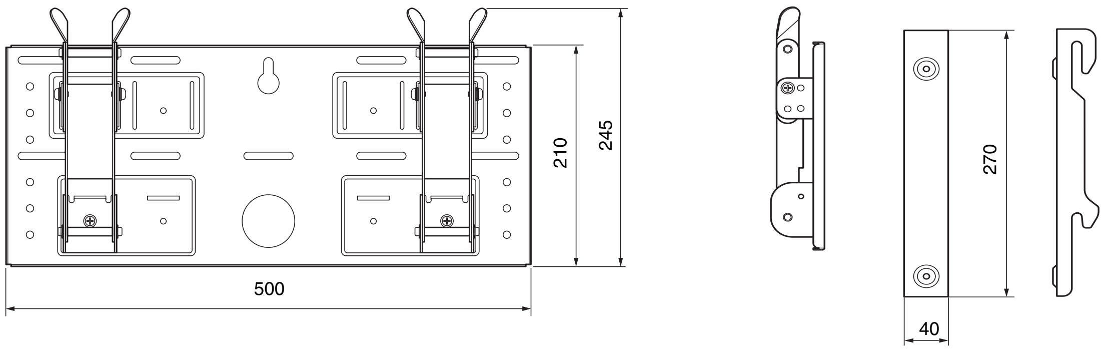
⚠警告

- ディスプレイは、必ず2人以上で持って移動させてください。
- ディスプレイをはずすときは、ケーブル類を引っ掛けないようにご注意ください。
- ディスプレイをはずすときは、手や指を傷つけないようにご注意ください。



主な仕様

単位：mm
質量：3.4 kg



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ········ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は　03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ···················· 0466-31-2595
受付時間 ：月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙を
使用しています。

Printed in Japan